

平成29年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月8日

上場会社名 株式会社アバント 上場取引所 東  
 コード番号 3836 URL <http://www.avantcorp.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森川 徹治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 春日 尚義 (TEL) 03-6864-0100  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	7,714	10.4	1,009	46.3	1,011	47.2	433	18.0
28年6月期第3四半期	6,985	8.6	690	11.9	687	12.7	367	△2.5

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 434百万円(19.1%) 28年6月期第3四半期 364百万円(△3.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	46.15	—
28年6月期第3四半期	39.11	—

(注) 平成28年12月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第3四半期	6,518	3,641	55.9
28年6月期	6,709	3,311	49.4

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 3,641百万円 28年6月期 3,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	22.00	22.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年12月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。平成28年6月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,340	7.6	1,160	4.5	1,162	4.4	525	△20.5	55.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年6月期3Q	9,388,000株	28年6月期	9,388,000株
29年6月期3Q	662株	28年6月期	514株
29年6月期3Q	9,387,383株	28年6月期3Q	9,387,486株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 平成28年12月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)6ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
(4) 追加情報	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下「当第3四半期」という。）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで緩やかな回復基調は継続しているものの、地政学的リスクの高まりなど、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある状況となっております。

ソフトウェア・情報サービス業界におきましては、クラウド、ビッグデータ、IoT、AI（人工知能）など、企業のITサービスへの新たなニーズは高まりを見せておりますが、依然、受注競争は厳しい一方で、多くの企業が適切なIT人材の確保を喫緊の課題として抱えている状況にあります。

このような状況下、当社グループは、わが国を代表する数々の企業グループをお客様に持ち、そうしたお客様の継続的な企業価値向上に寄与するために、①自社開発パッケージ・ソフトウェアのライセンス販売及びサポート・サービス、②連結会計・連結経営、BI（経営情報の活用）、ERPなど専門性の高い分野におけるコンサルティング・サービス、③お客様の連結会計・連結納税業務等を引き受けるアウトソーシング・サービスなど、業務効率の改善やガバナンスの高度化に資する専門性の高いソフトウェア及びサービスを提供しております。

当第3四半期においては、連結会計・経営に関する分野において、ライセンス販売が堅調に推移するとともに、アウトソーシング・サービスやコンサルティング・サービスが大きく伸長しました。また、BIに関する分野でも高度な技術力により多様な製品の取り扱いが可能である特長が奏功し、売上を大きく伸ばすことができました。

一方で、不採算案件の対応のための受注損失引当金52,983千円、和解金として特別損失326,000千円を計上しておりますが、それを補って前年同四半期を上回る利益が出せるほど、費用の増大を一定水準に抑えながら、売上を増大させております。また、連結従業員数は当第3四半期末時点で649名となり、期初から46名増加しております。

これらの結果、当第3四半期の業績は、売上高7,714,975千円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益1,009,843千円（前年同四半期比46.3%増）、経常利益1,011,978千円（前年同四半期比47.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益433,183千円（前年同四半期比18.0%増）となりました。

事業形態別の売上高の状況は以下のとおりです。

## &lt;ライセンス販売&gt;

連結決算関連の自社開発パッケージの販売については、お客様ニーズに応えるための製品改善の継続などにより、特に管理会計関連でライセンス販売を増加させることができました。一方で、BI関連の他社製品ライセンスについては、前年同四半期のような大型案件の受注がなかったため、減少しております。これらの結果、ライセンスの売上高は485,031千円（前年同四半期比6.6%減）となっております。

## &lt;コンサルティング・サービス&gt;

連結会計・連結経営の高度化ニーズに対応するためのコンサルティング・サービスは、IFRS（国際財務報告基準）の適用やグループ・ガバナンス高度化への要請、データを活用した経営の浸透などを背景に順調に伸長しました。また、BI分野に関するコンサルティング・サービスについても、当該分野のライセンス販売の減少分を補って余りあるほどに順調に伸長しました。これらの結果、コンサルティング・サービスの売上高は4,502,188千円（前年同四半期比9.7%増）となりました。

## &lt;サポート・情報検索サービス&gt;

DivaSystem製品の保守売上は継続利用率の高さを背景に堅調に推移しており、継続的なバージョンアップによる機能強化や、サポート業務の顧客満足度向上に注力することで顧客基盤の安定・強化に努めております。また、連結決算業務や連結納税業務等のアウトソーシング・サービスも依然として旺盛な顧客ニーズを背景にして大幅に増加しており、サポート・情報検索サービスの売上高は2,727,755千円（前年同四半期比15.5%増）となりました。

なお、当第3四半期の受注及び販売の状況は、次のとおりとなっております。

## ① 受注状況

(単位:千円 [単位未満切捨て])

	前年同四半期		当第3四半期		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ライセンス販売	519,459	—	485,031	—	△34,427	—
コンサルティング・サービス	4,140,054	774,964	4,829,052	994,810	688,997	219,846
サポート・情報検索サービス	2,329,882	986,689	2,467,500	1,035,954	137,618	49,265
合計	6,989,395	1,761,653	7,781,584	2,030,765	792,188	269,111

## ② 販売実績

(単位:千円 [単位未満切捨て])

	前年同四半期	当第3四半期	増減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
ライセンス販売	519,459	485,031	△34,427	△6.6
コンサルティング・サービス	4,104,437	4,502,188	397,751	9.7
サポート・情報検索サービス	2,361,482	2,727,755	366,273	15.5
合計	6,985,378	7,714,975	729,596	10.4

(注) 上記①、②の表の金額には、消費税等は含まれていません。

また、四半期毎の売上高及び営業利益、従業員数の推移は次のとおりとなっております。

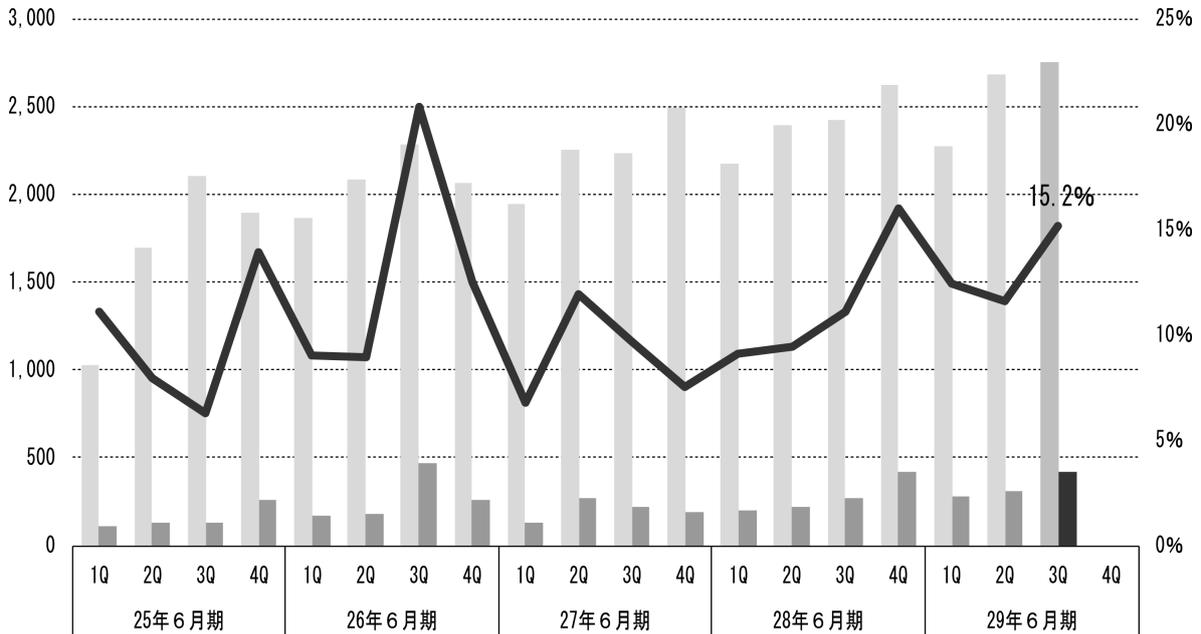
直近4四半期の売上高及び営業利益

(単位:千円 [単位未満切捨て])

	28年6月期	29年6月期		
	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
売上高	2,627,499	2,272,841	2,685,620	2,756,513
営業利益	419,455	280,850	310,457	418,535
営業利益率 (%)	16.0	12.4	11.6	15.2

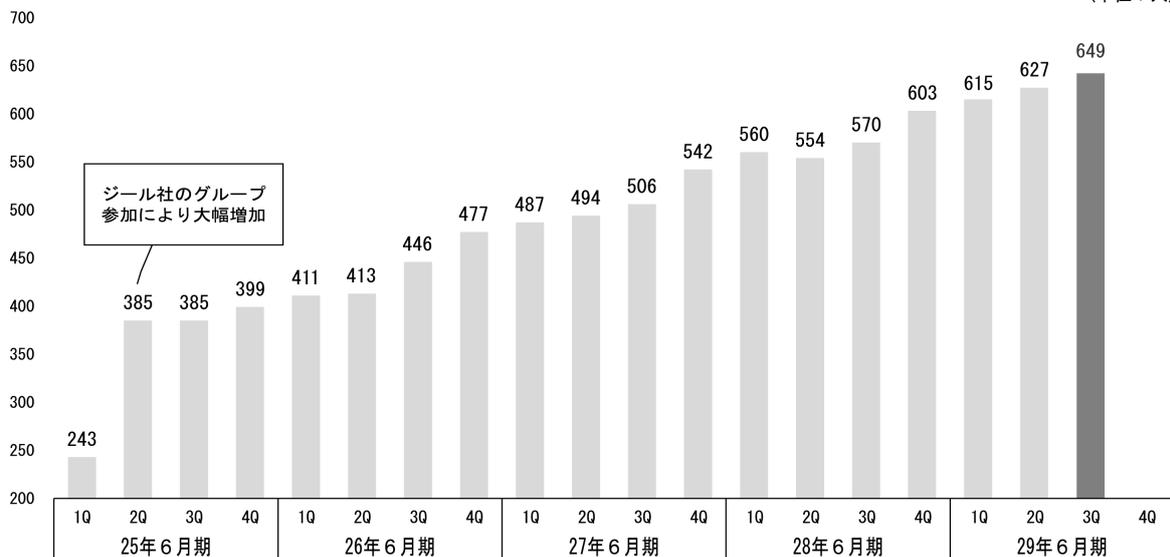
売上高及び営業利益（営業利益率）の四半期別推移

(単位:百万円)



当社グループ従業員数の四半期別推移

(単位:人)



## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の資産合計は、6,518,313千円（前連結会計年度末比190,853千円減少）となりました。これは主に、賞与の支払いや法人税の納付、和解金の支払いを主な要因とした現金及び預金の減少などにより、流動資産が410,364千円減少した反面、和解金の計上により発生した税務上の繰越欠損金に対する繰延税金資産を計上したことなどにより、固定資産が219,511千円増加したことによるものです。

一方、負債合計は2,876,394千円（前連結会計年度末比521,683千円減少）となりました。これは主に、和解金の支払いにより損害賠償引当金が減少したことや、前受収益が売上への振替に伴い減少したことなどにより、流動負債が512,100千円減少したことによるものです。

また、純資産合計は親会社株主に帰属する四半期純利益433,183千円の計上と剰余金の配当103,262千円の支払いなどにより、3,641,919千円（前連結会計年度末比330,829千円増加）となりました。この結果、自己資本比率は55.9%（前連結会計年度末は49.4%）と前連結会計年度に比べ6.5%向上し、上場以来の最高水準にあり、安定的な財務バランスを保っているものと考えております。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ538,307千円減少し、2,867,758千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、64,531千円となりました。（前年同四半期は328,522千円の獲得）

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益685,978千円であり、支出の主な内訳は、和解金の支払額500,000千円と法人税等の支払額344,218千円等であります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、273,849千円となりました。（前年同四半期は245,176千円の使用）

支出の主な内訳は、事務所移転に伴う設備工事やサーバーの購入等による有形固定資産の取得69,319千円、事務所の新設に伴う敷金及び保証金の差入73,989千円、投資有価証券の取得90,193千円等であります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、200,667千円となりました。（前年同四半期は211,506千円の使用）

支出の主な内訳は、配当金の支払額103,262千円と長期借入金の約定返済91,845千円等であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

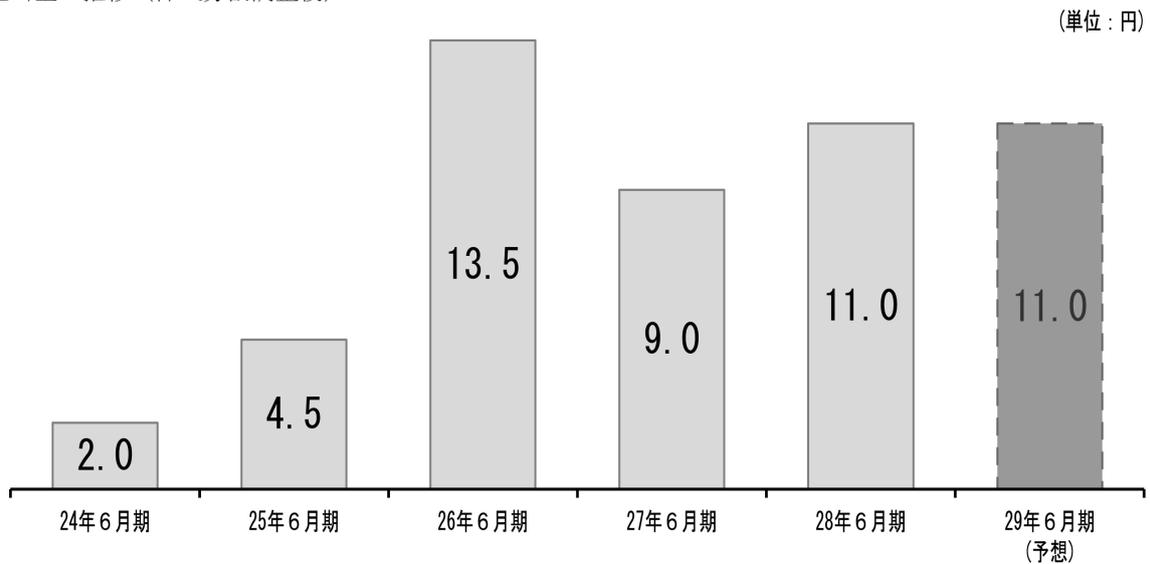
通期業績につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成28年12月20日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成29年5月8日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想の修正に伴う配当予想についての変更はありません。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

配当金の推移（株式分割調整後）



2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,404,804	2,866,047
受取手形及び売掛金	1,555,855	1,656,149
仕掛品	116,542	176,186
原材料及び貯蔵品	3,714	11,442
繰延税金資産	273,333	211,845
その他	382,933	405,148
流動資産合計	5,737,184	5,326,819
固定資産		
有形固定資産	210,744	233,349
無形固定資産		
のれん	141,375	56,550
ソフトウェア	59,393	70,477
その他	897	868
無形固定資産合計	201,665	127,895
投資その他の資産		
投資有価証券	78,165	168,130
敷金及び保証金	365,436	439,426
繰延税金資産	47,588	149,845
その他	68,382	72,846
投資その他の資産合計	559,572	830,248
固定資産合計	971,983	1,191,494
資産合計	6,709,167	6,518,313

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	336,340	426,267
1年内返済予定の長期借入金	122,460	59,445
リース債務	3,639	2,189
未払金及び未払費用	262,007	347,504
未払法人税等	147,081	101,880
前受収益	1,408,797	1,139,695
賞与引当金	420,780	382,654
役員賞与引当金	92,097	61,251
受注損失引当金	73,562	52,983
損害賠償引当金	174,000	—
資産除去債務	6,574	—
その他	205,594	166,964
流動負債合計	3,252,936	2,740,836
固定負債		
長期借入金	28,830	—
リース債務	5,064	3,293
繰延税金負債	92	54
資産除去債務	111,154	132,210
固定負債合計	145,141	135,558
負債合計	3,398,077	2,876,394
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	288,400	288,400
資本剰余金	225,200	225,200
利益剰余金	2,798,567	3,128,488
自己株式	△171	△276
株主資本合計	3,311,995	3,641,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,090	△1,617
繰延ヘッジ損益	27	39
為替換算調整勘定	156	1,685
その他の包括利益累計額合計	△905	107
純資産合計	3,311,089	3,641,919
負債純資産合計	6,709,167	6,518,313

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	6,985,378	7,714,975
売上原価	4,029,732	4,224,095
売上総利益	2,955,646	3,490,879
販売費及び一般管理費	2,265,187	2,481,036
営業利益	690,459	1,009,843
営業外収益		
受取利息	465	530
受取配当金	328	1,063
為替差益	1,226	3,280
還付加算金	183	116
その他	155	313
営業外収益合計	2,359	5,305
営業外費用		
支払利息	2,416	1,085
支払手数料	2,245	2,084
その他	807	—
営業外費用合計	5,468	3,170
経常利益	687,349	1,011,978
特別損失		
和解金	—	326,000
特別損失合計	—	326,000
税金等調整前四半期純利益	687,349	685,978
法人税、住民税及び事業税	344,244	293,371
法人税等調整額	△24,082	△40,576
法人税等合計	320,161	252,794
四半期純利益	367,187	433,183
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	367,187	433,183

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	367,187	433,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△834	△527
繰延ヘッジ損益	△11	11
為替換算調整勘定	△1,861	1,529
その他の包括利益合計	△2,707	1,013
四半期包括利益	364,479	434,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	364,479	434,197
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	687,349	685,978
減価償却費	87,951	98,321
社債発行費	527	—
のれん償却額	84,825	84,825
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,496	—
受注損失引当金の増減額(△は減少)	69,501	△20,579
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,251	△38,125
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	30,258	△30,846
受取利息及び受取配当金	△794	△1,594
支払利息	2,416	1,085
支払手数料	2,245	2,084
和解金	—	326,000
売上債権の増減額(△は増加)	113,117	△99,284
たな卸資産の増減額(△は増加)	△169,790	△67,372
仕入債務の増減額(△は減少)	△61,514	89,927
前受収益の増減額(△は減少)	△22,973	△269,101
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	107,826	77,190
その他	△229,270	△59,318
小計	680,926	779,189
利息及び配当金の受取額	770	1,502
利息の支払額	△2,369	△1,005
和解金の支払額	—	△500,000
法人税等の支払額	△350,805	△344,218
営業活動によるキャッシュ・フロー	328,522	△64,531
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△98,579	△69,319
無形固定資産の取得による支出	△17,674	△40,379
投資有価証券の取得による支出	△82,677	△90,193
敷金及び保証金の差入による支出	△1,394	△73,989
保険積立金の積立による支出	△44,630	△4,459
その他	△220	4,492
投資活動によるキャッシュ・フロー	△245,176	△273,849
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	—
短期借入金の返済による支出	△100,000	—
長期借入金の返済による支出	△91,845	△91,845
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,784	△3,221
社債の償還による支出	△30,000	—
支払手数料の支出	△2,345	△2,233
自己株式の取得による支出	△43	△105
配当金の支払額	△84,487	△103,262
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,506	△200,667
現金及び現金同等物に係る換算差額	△940	741
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△129,101	△538,307
現金及び現金同等物の期首残高	2,816,955	3,406,066
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,687,853	2,867,758

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。